

ごあいさつ

セブン-イレブン記念財団は、1993年11月、(株)セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に、セブン-イレブンみどりの基金として設立され、2010年3月に一般財団法人に移行しました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンなどからの寄付金をもとに、「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の事業領域を設け活動しています。

環境市民活動支援事業では、地域に根ざした環境市民団体の活動に対し、「環境市民活動助成」を通じて積極的な支援を行っています。東京都と協定を締結した「東京の緑を守ろうプロジェクト」は、都内に残る緑を保全する市民活動の支援を連携・協力して行っています。地域の環境NPO団体を活性化するための中間支援組織への支援や、日本各地でリーダーとなって活動する人材を育成するために、「環境NPOリーダー海外研修」を行っています。

自然環境保護・保全事業では、日本の美しく、貴重な自然を次世代に残すために、「霧多布湿原ナショナルトラスト活動」をはじめ、様々な団体と協力して、自然環境保護・保全に取り組んでいます。自主活動では、「東京湾UMIプロジェクト」、「セブンの森」づくりに取り組んでいるほか、大分県玖珠郡九重町で「九重ふるさと自然学校」を、東京都八王子市川町の都有地で「高尾の森自然学校」を開校し、自然の大切さ、すばらしさを学べる自然学校を運営しています。

災害復興支援事業では、甚大な被害をもたらした自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。2006年から「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」、2011年から「東日本大震災復興プロジェクト」と、岩手県・宮城県・福島県沿岸の津波で被災した小学校に花苗などをお届けする「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」を実施しています。

セブン-イレブン記念財団は、これからも環境市民団体、セブン-イレブン加盟店およびセブン-イレブン本部と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

理事長 山本 憲司
(セブン-イレブン豊洲店オーナー)

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

